

2023年度 Space Designer 検定 総評

今年度のテーマ「宿場町に建つ古民家カフェ」は、既存木造家屋のリノベーションです。タイムリーな課題で、作品作りでは十分楽しめたのではないのでしょうか。木造の小屋組のモデリングは初心者にとってかなりハードルの高い要求ではないかと危惧されました。ところが応募されたほぼ全ての作品が正確にモデリングできており、受験者の図面の読解力とモデリング能力に驚かされました。使用したCAD／CGソフトの標準的な機能だけではできない部分も多々あったはずですが、受験者それぞれが創意工夫されたのでしょう。

●基礎課題について

明らかにモデリングが未完成のものは不合格としています。

今年度は特に、レンダリング画像が歪んでいる作品が目立ちました。小屋組を見せるためにパースに無理なアングルを設定した結果と思われるのですが、視野角をあまり広く取ると絵に歪みが生じます。アスペクト比（縦横比）は自由なので、縦構図にしても良かったのではないのでしょうか。

ライティングに問題が多く、照明を点灯していないケースや、時刻の設定ができていないため、窓からの日差しの角度が違うものが目立ちました。

基礎課題では要求されていない家具の配置を行う、提出データ形式・容量を守っていないなどのルール違反も多くみられました。問題をよく読み、提出前に再度確認するようにしてください。

その他に気になった点が、木目のテクスチャです。向きが指定され

ていなくても長手方向に合わせるようにしましょう。

●応用課題について

テーマにあった追加家具が選択され、ゆとりのある配置計画を行っていること、飾り棚を中心としてアートギャラリーにふさわしい作品の展示内容となっていること、また、インテリアコーディネーターの要望の暗くなりがちなところを明るく見せるための工夫をいかに行っているかが、採点の重要なポイントです。

インテリアの提案では、家具、照明、インテリアアクセサリなどの選定がイメージや空間の使い勝手を大きく変えます。また、色・素材といった要素も彩りの重要なポイントです。それらがコメントの中で、空間の画像とともに説明されることで、インテリアの提案の深みと魅力として伝わってきます。

完成パース画像について

完成パース画像とは、追加の家具や小物、人物などの添景を加えたものです。プレゼンボードのメイン画像には、この完成パース画像を使用しますが、後から人物を入れる、アングルを変えるなど、完成パース画像とメイン画像が違うものがありました。

存在感がありすぎる点景の人物も多く見られましたが、主役のインテリアよりも目立つような表現は好ましくありません。

プレゼンボードについて

使用したエレメントや家具の説明やメニューの紹介が、不十分なものがほとんどでした。

コンセプトや図には説明を入れますが、長すぎず短すぎず簡潔な文章を心がけます。また、図と説明文が重なると見づらいなので重ねないようにしましょう。

誤字、脱字、英語のスペルミスが目立ちました。最後に全体をよくチェックしてください。タイトルなど文字が大きい部分は意外と見落としがちです。

また、図の縁取りは印象が固くなりがちなので最小限度にしましょう。

受賞作品について

金賞の作品は、完成度が高いプレゼンボードでした。飾り棚の飾り方に物足りなさはありませんでしたが、エレメントが豊富で、色彩計画の説明もされており、それぞれのパースで内容がよく説明できていました。

銀賞の作品は、空間構成が素晴らしく、リアルな雰囲気が出ていました。また、展示内容と追加家具の選択が優れていました。エレメントの説明が不足している点が惜しいところです。

銅賞の2作品については、「Mind reset café」は飾り棚が素晴らしく、全体のレイアウトが整っていました。「COCOICO」はプレゼンボードのレイアウトの美しさが評価されましたが、図の説明が不足していました。個々の図に対して説明をつけるようにしましょう。

最後になりますが、回を重ねるごとに完成度の高い作品が増え、レベルの向上を感じます。合格された方もこれで良いと思わず、創造性と表現力の一層の向上を目指していただきたいと思います。